

プレスリリース

Akur8、保険プライシング業務を効率化するアクチュアリー業務特化型AIエージェント「Akur8 Agents」の提供を開始

Akur8の保険数理プラットフォーム上で稼働する新たなエージェントが、定型業務の自動化と専門スキルの活用を実現。すべてのプロセスをアクチュアリー自身がコントロール。

2026年10月28日 | ※本資料は、Akur8が2026年9月29日（米国現地時間）に発表したプレスリリースの抄訳です。

グローバル・保険数理AIプラットフォームを提供するAkur8は本日、専門的なガイダンスとノーコードによるプロセス自動化機能をアクチュアリー業務に直接組み込む「Akur8 Agents」の提供を開始いたしました。その第一弾となる「Akur8 Agents for pricing」は、定型的なタスクの処理やインサイトの提示を担い、アクチュアリーの専門知識をより手軽に活用できるようにすることで、複雑なプライシング業務の効率化を支援します。アクチュアリーがアクチュアリーのために開発したAIエージェントはAkur8プラットフォーム上で動作し、分析と意思決定は引き続きアクチュアリー自身が完全にコントロールします。

「アクチュアリーAIが次に目指すのは、アクチュアリーを置き換えることでも、その業務をブラックボックスに任せることでもありません。定型業務を整理し、複雑なプロセスをガイドし、Akur8プラットフォームの機能を最大限に活用しやすくする専門エージェントを、アクチュアリーに提供することです。Akur8 Agentsでは、これまでどおり数学的な計算は保険数理エンジンが、意思決定はアクチュアリーが担います。そのうえでエージェントが、すべてのプロセスを効率的かつ透明性高く、安全につなぎ合わせる役割を果たします。」

Sam Falmagne

(Akur8 CEO 兼 共同創業者)

今回の提供開始により、Akur8を活用したアクチュアリー業務の可能性は大きく広がります。

- Akur8 Agentsはプラットフォームと連携し、効果的な活用方法についてガイダンスを提供します。
- 数学的な計算やモデリングは、これまでどおりAkur8の保険数理・統計機能が担います。
- アウトプットのレビューや結果の解釈、専門的な判断、最終的な意思決定は、引き続きアクチュアリーが責任を持って行うことができます。

Akur8 Agentsは、お客様が使い慣れ、信頼を寄せているクラウドネイティブなインフラ、機械学習アーキテクチャ、保険数理エンジン、統計機能を基盤としています。保険会社がAIエージェントの仕組みを一から構築する必要はなく、すでにご利用いただいているAkur8の製品や保険数理機能と連携した、目的別の専門エージェントを利用することができます。今後はReservingおよびLifeの領域にも専門AIエージェントを展開し、同様のアプローチをより多くのアクチュアリー業務へ広げていく予定です。

定型的なプライシング業務をより効率的に

Akur8 Agents for pricingは、実務で繰り返し発生するワークフローを想定して設計されています。料率構造の構築、再利用可能なテンプレートを用いたレポート作成、モデリングのニーズに合わせた数式の作成、モデリング開始前の変数の使用状況の確認、届出済み料率を活用した料率分析などを支援します。また、スプレッドシートなどの形式で管理されている料率算出ロジックを、柔軟かつレビュー可能なプロセスでAkur8に取り込むこともできます。

さらに、プロジェクト内の情報を横断的に結び付け、進捗や作業内容の要約、見つけにくい関連情報の提示、可視化の作成なども行います。Akur8および保険業界のベストプラクティスを日々の業務の中で参照できるのも特長です。これらのナレッジはソフトウェアのアップデートに合わせて随時更新され、複数の言語で利用できます。

汎用AIではなく、アクチュアリー業務に特化したエージェント

汎用AIでも回答を生成することはできませんが、アクチュアリー業務では、検証可能かつ説明可能で、その妥当性を示せる結果が求められます。

Akur8 Agentsは、Akur8のアクチュアリーチームとプロダクトチームが厳選し、アクチュアリーが日々行っている業務フローに合わせて設計しています。その基盤には、世界3,000人以上のアクチュアリーにすでに信頼されている、Akur8の保険数理・統計技術があります。

まず、Akur8の各プライシングモジュール向けに用意されたエージェントから始められます。ニーズの変化に応じて、すぐに使える専門スキルのテンプレートや独自のカスタムスキルを追加し、コードを書くことなくエージェントをカスタマイズすることも可能です。また、すべての会話に共通して適用されるグローバルメモリや指示を設定すれば、エージェントがチーム共通のガイダンスに一貫して従うようにできます。

これにより、迅速かつ信頼性の高いスタートを切りながら、各チームのユースケースに合わせてエージェントを育てていくことができます。

Akur8 Agentsは、次の4つの原則に基づいて設計されています。

- **アクチュアリーの専門性：** エージェントとスキルは実際のプライシング業務を想定して開発されており、Akur8の保険数理・分析機能に裏付けられています。

- **説明可能性と人によるコントロール：** ユーザーは各結果に至る推論の過程をたどり、その裏付けとなる処理内容を確認できます。アウトプットのレビューや編集も可能で、変更は実行前にユーザーが確認・承認します。
- **ネイティブな連携：** エージェントは既存のAkur8の機能を選択し、組み合わせて活用します。計算やモデリングはAkur8の基盤となるエンジンが実行します。
- **エンタープライズ水準の信頼性：** Akur8 Agentsは、高いプライバシーとセキュリティ要件に準拠して設計されています。お客様のデータがAIモデルの学習に使用されることは一切なく、EU AI法にも準拠しています。

Akur8について

Akur8のグローバル・保険数理AIプラットフォームは、革新的な保険数理ソリューションによって保険業界に変革をもたらしています。最先端のテクノロジー、卓越した保険数理の専門性、優れたクライアントサービスを基盤に、損害保険（P&C）および生命保険・年金保険（L&A）市場において、あらゆる規模の保険会社にスピード、パフォーマンス、透明性、信頼性を提供しています。Akur8は40カ国以上で350社以上のお客様にサービスを提供しています。その中には、AXA、Generali、Munich Re、Europ Assistance、東京海上、MS&ADといったグローバルな保険会社をはじめ、TMNAS、FCCI、NEXT、HDVI、Wawanesa、SGI Canada、Facility Groupといった個人・企業向け損害保険会社、スペシャルティ保険会社のCanopusが含まれます。3,000人以上のアクチュアリーが日々Akur8を活用し、あらゆる保険種目でプライシングモデルの構築やリザービングのプロジェクションを行っています。

詳細については、<https://www.akur8.com> をご覧ください。

報道関係者からのお問い合わせ先

Heide Sacher

Akur8

Head of Marketing, U.S. & Canada

heide.sacher@akur8.com

(日本における窓口)

片桐 友之助

(Akur8 Japan株式会社 Sales Director)

tomonosuke.katagiri@akur8.com

